



静岡県主催オンライン研修会



"i-Construction"

このたび、静岡県は、西ジャワ州政府職員等を対象に、"i-Construction"をテーマとした研修会をオンラインで開催します。

静岡県は、2017年11月に西ジャワ州と「人材育成と経済分野での協力推進に係る覚書」を調印し、西ジャワ州政府職員等の人材育成に協力しており、今回の研修会もその一環として実施します。

ICTを活用した建設分野の生産性向上や、国内でも高い評価を受け、幅広い分野での活用が期待されている3次元点群データの活用やその可能性などを解説します。

災害対応のみならず、自動運転や疑似観光、文化財保護など、幅広い分野での活用が期待される3次元点群データについて、ぜひ話を聞いてみませんか？
多くの皆様のご参加をお待ちしています！！

テーマ："i-Construction"

- ICTを活用した建設分野の生産性向上
- 3次元点群データの活用とその可能性

日時：2022年2月16日（水）

10:00-12:00 研修
(12:00-13:00 休憩)
13:00-14:00 研修
(14:00-15:00 休憩)
15:00-17:00 研修

講師：杉本 直也（すぎもと なおや）

静岡県交通基盤部建設政策課未来まちづくり室
イノベーション推進班長

通訳：インドネシア語通訳あり

講師略歴

- ・ 1971年静岡県出身、1994年静岡県入庁（土木技術職）
- ・ 土木事務所などで施工管理を経験後、静岡県GISやふじのくにオープンデータカタログ、静岡県ポイントクラウドデータベースの構築を担当
- ・ 現在は、i-Construction、自動運転、スマートシティ関連業務を担当
- ・ 静岡大学情報学部（土木情報学研究所）客員教授
- ・ 地域情報化アドバイザー（総務省）、オープンデータ実務者会議自治体普及作業部会委員（内閣官房）等を歴任し、静岡県を中心に日本全国で活動



どんな話が聞けますか？

- ・ 今やICTは建設分野でも活用が進められており、ドローンやレーザースキャナーによる測量、ICT建設機械による施工など、ICTを活用することで建設分野の生産性向上や工事の安全性を高めることができます。
- ・ 本県では、そうしたICT活用工事で取得した3次元点群データ（レーザースキャナーなどで計測した位置座標を持つ膨大な点の集まり）をオープンデータ化し、誰でもデータの二次利用を可能としています。
- ・ 2021年7月に本県熱海市で発生した土石流災害において、災害前後のデータ比較により正確な土砂流出量を割り出すなど、災害対応等で活用されており、自動運転や疑似観光、文化財保護など様々な分野での活用可能性も期待されています。
- ・ 今回の研修会では、こうした話題を中心に、ICTを活用した建設分野における生産性向上や3次元点群データの活用可能性などを分かりやすく解説します。

静岡県とはどんなところですか？



プルシブ・バンドンなどで活躍した、静岡県出身でふじのくに観光公使の松永祥兵さんが、静岡県の概要や、西ジャワ州との交流をインドネシア語で紹介しています。

